



## 今月の表紙

夏を感じさせるほど、まぶしく暑い日差しがふりそそいだ6月9日に『第59回南会津地方植樹祭』が行われた。大倉地区の比良林公園にサクラやコブシ、ツツジ類などが目黒町長はじめ町内の小学生や参加者の手で230本植樹された。【関連記事6頁】

## 平成22年度地域人材育成事業・

### ダイヤモンドプラン… 2～3

只見人の夢「目黒道人さん」…………… 4～5

第59回南会津地方植樹祭 他 …………… 6～7

R289フルコース踏破実行委員会 他 …………… 8～9

町の話……………… 10～11

# 平成22年度地域人材育成事業 地域人材育成ダイヤモンドプラン

## 町づくりを考える リーダーを育てます

教育委員会では今年度の重点事業の一つとして、第6次只見町振興計画に基づき、「広い視野を持ち地域を理解する人づくり」を目指し、只見町を様々な分野でけん引していくリーダーを養成するための「地域人材育成ダイヤモンドプラン」を今年度から10カ年計画で行ないます。

### 地域のリーダーをつくります

これからの只見町においては、町民が本心に望む町づくりを実現するため、日常的に町の活性化方策などについて情報交換を行い、その思いや意見を行政に伝え、目指す町づくりをも進めていくような、地域リーダーの存在が必要であります。

この地域リーダーを数多く育て、多方面から町づくりに積極的に取り組まれる人材を確保するために、今年度より「地域人材育成事業」をスタートさせます。

### 地域リーダーの資質・姿は？

▽豊かな教養と人間性を備えている人材  
▽自分の業種の専門性を持っている人材  
▽町を支える人材  
の三つの要素を備えている人材が地域リーダーとなります。

### 事業の内容は？

▽人選は、町民からの選抜となります。選抜した合計10名の方々が1期生となり、様々な研修などを受講します。条件としては全課程を受講できる

方です。

募集は、毎年行われ10期生まで10名ずつ選抜されます。

▽リーダーの類型は、次のとおりで幅広い分野において、人材を育成します。

（第1期生～第10期生）

#### 【第1期生】

○只見町の6次産業を興す起業家の育成（農・工・商）  
広い知識を持った起業家を育てます。

#### 【第2期生】

○産業を興す人材育成  
只見独自の特産物を開発する（只見ブランド）など、只見の資源を活用して産業を興す人材を育成します。

#### 【第3期生】

○集落再生の人材育成  
限界集落の再生として、その分野で秀でた人材を育成します。集落を維持していくために何が必要なのかを考える人材を育成します。

#### 【第4期生】

○地域の課題を解決する人材育成  
ゴミ出しや買い物の交通手段、除雪など、小さな問題でもその地域や、他の地域と連携を取り解決するために活躍してくれる人材を育成します。

#### 【第5期生】

○伝統文化を活かす人材育成

技を伝え、文化財や物、食など後世に残しておくべきものを守る人材を育成します。

#### 【第6期生】

○生涯スポーツ振興に関する人材育成  
広い意味でのスポーツ、また、高齢者の健康維持などに関する人材を育成します。

#### 【第7期生】

○子育てに関する人材育成  
子育てに関して自分たちで積極的に活動する力をつけてもらい、意識改革（子育てⅡ親育て）をし、これから見据えてもらおう人材を育成します。

#### 【第8期生】

○地域観光マネージャーを目指す人材育成  
只見の自然を守り、活かし、発信していける人材を育成します。

#### 【第9期生】

○地域福祉に関する人材育成  
医療や介護など、只見町に必要なものを考え取り入れることのできる人材を育成します。

#### 【第10期生】

○教育振興に関する人材育成  
子どもたちが将来に希望を持てる目標に進んでいける手伝いのできる人材を育成します。  
※第3期～第10期までは変更の可能性ががあります。

- ▷「ふるさと只見・人材育成講座」としてスタートする本講座は、今年度5回を予定しており、2カ年継続で講座を開催し、第1期生10名が誕生します。
- ▷第10期生までで計100名の様々な分野で専門知識を備えた人材を育成したいと計画しています。
- ▷これからの只見町を支える人材を数多く輩出することを目的にこの事業が行われますので、皆様のご協力をお願いいたします。

## 第1期生は

**「農業における6次産業を興す経営感覚を持った起業家の育成」**  
**を目指し、下記の講座を受講します。**

**ポイント** 6次産業とは

「農業生産（1次産業）・加工、製造（2次産業）・流通、販売（3次産業）を連携、融合させた産業」のことです。

## 【1年目の講座カリキュラム】

回	日 時	講 師	講 座 内 容
第1回	7月22日 13:30～	福島大学 経済学類 教授 西川和明氏	テーマ 「地域資源を活かす！」 中小企業、地元農家を元気にするには！ 地域経済の立て直しを図るポイントは！
第2回	9月8日 13:30～	会津大学短期大学部 産業情報学科 教授 森 文雄氏	テーマ 「中山間地域の活性化策について」 只見町の現状と再生策を解決！ 地域住民が主役とした経済の活性化を図るには！
第3回	11月下旬	6次産業の意義とあり方 (未定)	テーマ 「6次産業が地域経済にもたらす効果とは」 農業、商店、旅館を結びつけた地域づくりに6次産業化は必要不可欠！
第4回	1月末	お菓子の城 社長 片桐 俊輔氏	テーマ 「事業成功者から学ぶ経済学」 只見出身の事業成功者が発するメッセージとは！
第5回	2・3月	松下政経塾 視察、研修	テーマ 「日本を動かす松下政経塾を探る」 松下政経塾の人材育成方法とは！ 思想の基本を学ぶには！

◎7月22日は、開講式が行われます。

◎2年目のカリキュラムは受講生と共に構成します。

【問い合わせ先】 只見町教育委員会事務局 生涯学習班  
 (TEL) 82-5320 (FAX) 82-2337

# 只見人の夢

ただみじんのゆめ

Vol.01

「只見を明るく元気に」そんな思いが伝わるホットな活動を、積極的に展開されている町民の方をピックアップし紹介します。

今回は、館ノ川にお住まいの「目黒道人さん」にインタビューをお願いしました。只見に住み、只見を思い、只見を熱くする。そんな「只見人」の心に描かれていることは…。

皆さん、目黒さんプロデュースのイベントに参加して、只見を盛り上げませんか。

ピックアップ・インタビュー

Pickup・Interview



目黒道人さん (36)

館ノ川

只見に帰ろうと思われたのは？

東京で10年勤めた会社を辞めた時期と、父が体を壊して入院した時期が重なったため、六本木ヒルズのIT企業への転職を蹴って只見へ帰ってまいりました。(※おおむね事実です)

只見の魅力はどこにありますか？

誤解を恐れず、あえて言うならば…。

幸か不幸か人口が減り続け、価値ある豊かな自然だけが残ったところが他の自治体にはちよつと真似のできない贅沢な

魅力になっているんじゃないでしょうか。

また観光地化されていないところも、無作為とはいえないとキーな魅力です。地域振興の専門家やアドバイザーにとっては「ひと言物申さずにはおれない」魅力があるように、様々なアドバイスを仰いできた歴史があります。

「今も昔も変わらぬ景色と人」これが只見の魅力ではないでしょうか。

現在、活動されている内容を教えてください。

先日開催しました「100万

人のキャンドルナイト in 只見」というイベントを制作していました。

冬には「喫茶・キャンドル」というイベントも開催する予定です。

HIV/AIDSの予防啓発イベント「只見ロックフェスティバル」も11月に開催予定です。これらの企画・演出・プロデュースが主な役割です。

「味付マトンケバブ」というご当地バーガーを開発し、イベントなどで販売しています。現在は商工会青年部で常設店展開を進めており、倉田屋さんと山木亭さんで提供していただいております。今後、ご理解ある



▲100万人のキャンドルナイトin只見(只見川公園)

◀喫茶・キャンドル(只見スキー場)

## マトンケバブ 誕生秘話



イベントの制作費を稼ぐため、雪まつりに出店するべくメニューを考案しました。

東京の相棒と屋台で売っているドネルケバブを食べながら「俺ならマトンでやるな」と洒落で言ったのがきっかけでした。

モデルがあったため、すぐ形にはできたものの、出店で販売可能な商品にするためには保健所へ何度も足を運び、アドバイスを受けながら様々な条件をクリアする必要がありました。

マトンは冷めてしまうと脂が固まっておいしくなくなるデメリットもあり、提供方法などは未だ試行錯誤の途上です。

この機会を得るために、未来ある若者が毎晩お酒を呑み歩ける状況がまずは必要だと感じています。

対話のコミュニケーションから新たなアイデアや出来事が生まれます。それらが豊かに成熟したとき、芸術や文化が生まれコミュニティの活力となるのではないのでしょうか。

**町が元気になるために一番必要なことはなんですか？**

飲食店にご協力いただきながら、観光で訪れたお客様などに提供していただける機会を増やしていきたいと思っています。

9月19日に南会津町で開催される「大宴会in南会津」という音楽イベントを制作中です。キャンプ場で開催する野外コンサートで、キャン普しながら音楽を聴こう！というイベントです。

**今後はどんな活動をお考えですか？**

9月19日に南会津町で開催される「大宴会in南会津」という音楽イベントを制作中です。キャンプ場で開催する野外コンサートで、キャン普しながら音楽を聴こう！というイベントです。

「精を出せ」と水戸黄門で言っていました。家で晩酌よりも外へ出て、気の置けない仲間と対話をし、酒を酌み交わす機会が増えればいろんな問題が解決すると思います。

**最後に、今抱かれている「夢」を教えてください。**

広域的に志しある者が連携して楽しめる機会を増やしていきたいら最高です。

過疎で高齢化の町にあって、将来に希望を持つことは大変難しいのですが、過密でストレスに溢れ、環境の悪い都会に住んでいる人にとって憧れの場所と望まれる只見であって欲しいと思いますし、そうなるための対話や試行錯誤をこれからも楽しんでいきたいと思っています。

数々のイベントの企画、制作そして実行と、そのバイタリティーには心を揺さぶられました。只見の魅力を巧みにアピール、発信される活動をこれからも期待いたします。目黒さんには、お忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。

小さな芽 届け未来へ 緑の力  
**第59回南会津地方植樹祭**



▶苗木を植樹する朝日小学校の児童

▼目黒町長(右)はじめ、参加者で記念撮影



晴天に恵まれた6月9日、比良林公園(大倉)で、第59回南会津地方植樹祭が行われました。はじめに、主催者の南会津地方緑化推進委員会委員長である星光祥檜枝岐村長が「活力ある森林の育成と、自然環境の維持を推進します。緑豊かな自然を未来に継承していくことが私たちの重要な任務です。このような活

動を今後も継続していきたいと考えます」とあいさつを述べました。続いて、目黒町長の歓迎のことばのあと、森林環境の保全や普及、啓発活動などに貢献された緑化功労者4名の方々が表彰を受けました。また、平成13年度から毎年、木製玩具の売上金の一部を緑化推進委員会に寄付されている株式会社高島屋の鈴木弘治代表取締役社長に感謝状が贈呈されました。緑化功労者を代表し渡部民夫さん(小川)が「森林の重要性を次世代に示していくことが大切。小学生の皆さんにはこの活動を通して森や自然の大切さを学んでほしい」とあいさつを述べました。

その後、宍戸裕幸南会津農林事務所長が祝辞を述べ、植樹を行いました。植えられた苗木は、サクラやコブシ、イロハモミジ、ツツジ類など合わせて230本で、目黒町長はじめ、町内の小学生や田島第二小学校緑の少年団などの参加者が、一本一本丁寧にやさしく土をかぶせ植樹していました。最後に記念として参加者全員にサラサドウダンの苗木がプレゼントされました。

○只見町公認自然インストラクター名簿○

(敬称略)

職名	氏名	住所
	目黒 淳一	只見字原
	鈴木嘉津雄	只見字町下
代表	鈴木 章一	只見字沖
	佐藤 弘	叶津字入叶津
事務局長	渡部 和子	楢戸字館ノ川
	熊倉 彰	黒沢字沖
	熊倉 恵子	黒沢字沖
	山岸 國夫	黒谷字黒下
	船木 孝行	黒谷字白沢
代表代行	古川 勝久	長浜字柄沢
	梁取 一樹	大倉字広田面
	角田 朋之	小林字上照岡
	山内 明生	小林字上川原

ただみ自然案内人の会は6月21日に、ただみブナと川のミュージアムで、発会式及び設立総会を行いました。同会は、只見町公認自然インストラクターの認定を受けた「ただみ自然案内人」13名が中心となって設立。代表には鈴木章一さん(只見)、代表代行に古川勝久さん(長浜)、事務局長に渡部和子さん(館ノ川)が就任しました。発会式には、目黒町長をはじめ、只見町ブナセーター運営委員長、只見町観光まちづくり協会事務局長などが、お祝いに駆けつけました。今後は、只見町の自然の魅力



▲お祝いのあいさつをする目黒町長

ただみ自然案内人の会がスタート  
**発会式及び設立総会**

ただみ自然案内人の会は6月21日に、ただみブナと川のミュージアムで、発会式及び設立総会を行いました。同会は、只見町公認自然インストラクターの認定を受けた「ただみ自然案内人」13名が中心となって設立。代表には鈴木章一さん(只見)、代表代行に古川勝久さん(長浜)、事務局長に渡部和子さん(館ノ川)が就任しました。発会式には、目黒町長をはじめ、只見町ブナセーター運営委員長、只見町観光まちづくり協会事務局長などが、お祝いに駆けつけました。今後は、只見町の自然の魅力

## 豊かな自然のなかで培われた民俗を探る 民俗講演会



▲民俗について語る柏村祐司氏

只見の自然に学ぶ会と只見地区センターの主催により、6月6日、只見地区センターで民俗講演会が行われました。只見の自然や文化を知ること、町づくりの一步となることを目的に開かれ、今回が6回目。町内外から30名が参加しました。演題は、「奥会津の民俗を語る〜雪国の伝統と技〜」で、栃木県立博物館名誉学芸員、栃木県文

化財審議委員の柏村祐司氏が講演されました。柏村氏は20年以上前から只見の民俗調査を続けられ、狩猟や編み組細工、昔話などの民俗文化を数多く発表されています。今回は、只見の自然に生かされた暮らしや民俗をスライドを交えてお話いただきました。参加者は、改めて町の民俗文化の奥深さを学んでいました。

## 叙位・叙勲 小沼昇さんに旭日双光章

小沼さんは、平成8年12月から平成20年12月までの3期12年間、只見町長として在職されました。

その間、町村合併問題に取り組み、また町民が安心して暮らせる町の基盤づくりにも尽力され、朝日診療所の充実をはじめとする安定した保健・医療・福祉サービス体制の確立、山村教育留学制度による学校や地域の活性化、「自然首都」宣言を行い只見の自然のブランド化とブナ林を核とした交流の拡大にも取り組まれました。

さらに、只見町土地改良区理事長として、農業経営の合理化安定化を図られ、平成15年度からの2年間は南会津地方町村会長を務められ、南会津郡内町村の広域行政の推進にも力を発揮されました。

このように、只見町の発展と地方自治の振興進展に大きく貢献され、多大な功績を残されたことから、旭日双光章を受章されました。



## 塩ノ岐納税貯蓄組合に福島県知事感謝状

6月11日に福島市の自治会館で行われた第44回福島県納税貯蓄組合連合会定時総会において、塩ノ岐納税貯蓄組合（目黒良平組合長）に福島県知事感謝状が贈られました。感謝状は佐藤雄平県知事から目黒組合長に手渡されました。

塩ノ岐納税貯蓄組合は昭和35年の設立以来、50年の長期にわたり、組合長を中心とした組合員相互の納税意識の高揚活動も活発で、納期内完納を継続、納税秩序の維持発展に寄与され、

優良納税貯蓄組合として認められました。



▲感謝状を手にする目黒良平組合長

## 菅家一徳さんに福島県納税貯蓄組合連合会長感謝状

6月11日に福島市の自治会館で行われた第44回福島県納税貯蓄組合連合会定時総会において、菅家一徳さん（只見）に連合会長感謝状が贈られました。感謝状は菅野昌徳連合会長から菅家さん到手渡されました。

菅家さんは、福島県納税貯蓄組合連合会の副会長並びに南会津地区納税貯蓄組合連合会の会長を平成13年6月から平成21年6月までの4期8年間、在職され、多年にわたり申告納税制度の推進と納税意識の高揚に努められ、納税貯蓄組合の指導に多

大な貢献をされたことが認められました。



▲感謝状を手にする菅家一徳さん

# 国道289号線の早期全線開通を願い —— R289フルコース踏破実行委員会 ——



▲フルコース踏破を誓う只見高校生ら

6月22日、只見温泉保養センターに、只見高等学校1～2年生の生徒26名と保護者や関係者が集い、R289フルコース踏破隊結団式が開かれました。

この事業は只見高校1～2年生の選抜生徒30名と保護者や先生、一般町民、只見町などで構成される「R289フルコース踏破実行委員会」が実施主体となり、選抜された只見高校生が約10kmずつ自転車やタスキリレーしながら、いわき市から新潟市までの全長約



▲目黒町長に宣誓をする三瓶志門さん(只見高1年)

32.5kmの国道289号を踏破しようという壮大な計画の事業です。途中、只見町から三条市までの八十里越約25kmは徒歩で踏破します。

この事業の実施により、国道289号の早期全線開通と、只見町はじめ奥会津と新潟県との地域交流がさらに促進されることを期待したいと思えます。

踏破が行われる日程は、7月24日、25日、31日、8月1日の4日間となります。目標が達成されるよう、皆さん応援してくださいね。



▲マラソン部門で元気にスタートする参加者

時おり初夏の太陽が顔をのぞかせるなか、6月20日に只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会が行われました。

宮測公園をスタート、ゴール地点に、マラソン部門とウォーキング部門にエントリーした132名が思い思いのペースで一周4.2kmの只見湖周辺のコースを走ったり歩いたりして、自分の体力を確かめていました。

この日は気温も上昇し、暑い日でしたが参加者は、只見湖や深緑が映える周囲の山々を眺め

ながら、楽しく汗を流し全員が完走、完歩しました。

マラソン部門の優勝者は、▽2km・吉津遙くん(黒谷)▽4.2km・目黒大成さん(只見)▽8.4km・矢沢裕也さん(二軒在家)▽2km親子ペア・目黒佳祐くん/良二さん(熊倉)でした。ウォーキング部門では、あらかじめ設定された6020歩に一番近い6030歩で歩いた目黒ツヤ子さん(只見)がピタタンコ賞となりました。

初夏の日差しを浴びて健康づくり  
**只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会**



ニュースポーツで爽快な汗

## キンボール交流会 ～Let's オムニキン～

6月13日、町下町民体育館でキンボール交流会が行われ、25名が参加しました。

キンボールとは、4人1チームの3チームで、ヒットやレシーブを繰り返す、カナダ生まれのニュースポーツです。ヒットするチームにコールされたチームは床にボールが落ちる前にレシーブしなければいけません。レシーブに失敗すると、他の2チームに1点ずつ得点が加算されます。

参加者からは、初めてだったが、やりやすいスポーツで楽しく体を動かすことができた。年齢や性別に関係なく、気軽にどの年代もできるスポーツだったので良かった。全く知らない方も含め、いろんな方と交流することができて良かった。などと感想が聞かれました。

キンボールは、まだあまり知られていませんが、誰にでも、体力差など関係なく取り組めるスポーツです。ぜひ、皆さんも挑戦してみてください。



▲ただみコミュニティクラブが主催



## ブナセンター講座

## 第3回ブナセンター講座

## 木工クラフト教室

6月19日に、第3回ブナセンター講座「木工クラフト」がただみ・ブナと川のミュージアム内の、てわっさ工房で開かれました。参加者は、上町、原地区子ども会を中心にした親子40人。ボランティア講師の指導のもとで、小学生は小刀で小枝を削って鉛筆型のアクセサリを作り、小さな子どもたちは木片を貼りあわせてアンパンマンの顔を作りました。課題を終えたあとは、子どもも大人も一緒になって、小枝やドングリ、松ぼっくりなどを自由に組み合わせて、ウサギやクマなど、思い思いの作品を仕上げていました。

はじめは緊張していた子どもたちも一つ、二つ作品を仕上げるごとに、発想が伸び伸びと豊かになり、目を輝かせて作業に集中していました。



▲完成した作品を手に喜びの参加者

## 第4回ブナセンター講座

## 坪田和人さん講演「只見のブナの魅力」

6月26日、第4回ブナセンター講座「只見のブナの魅力」が、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれました。

講師は、全国530カ所のブナ林をたずね歩いた坪田和人さん。「ブナの山旅」という著書のなかで、只見町の沼ノ平のブナ林を絶賛されています。

参加者は26名で、皆さん坪田さんのブナへの思いに耳を傾けていました。



▲ブナ林の魅力を再認識する参加者

▼蒲生集落活性化委員会などが主催



## 登 蒲生岳山開き 山道には可憐なヒメサユリが満開

6月6日、快晴のなか蒲生岳山開きが行われ、約200名が山頂目指し登山しました。

7時30分に神事と開会式が執り行われた後、参加者はマイペースで登山を始めました。天候が良かったため、登山道から眺める景色や山頂からの眺望も最高で、参加者は爽快な登山を満喫していました。

集会所前での物産販売や甘酒サービスにも大勢つめかけ、にぎやかな山開きとなりました。



▲田んぼの泥遊びは最高だな～

## 3 町内保育所交流保育 保育所の年長児が楽しく交流

朝日保育所で6月8日に交流保育が行われ、只見と明和からも年長児が集合、全27名で元気に交流しました。最初にみんなで体操したり歌ったりした後、歩いて田んぼに移動、思いっきり泥遊びを楽しみました。泥だらけになりながら、バケツを片手にカエルやミミズを捕まえたり、田んぼの周りでは虫を探したりして触れ合い、交流を深めました。

## 会津朝日岳山開き(6月13日)



▲残雪の登山道を進む参加者

## み 只見高等学校校内駅伝大会 みんなでつないだタスキは最高の思い出

夏のような日差しとなった6月11日、只見高校の駅伝大会が開かれ、全校生徒が参加しました。各クラスごとにチーム編成し、男女混合で町下運動広場の周囲をリレー形式でタスキをつなぎ、タイムを競いました。なかには、一人で何周も走る生徒も見られ、チームワークが勝敗のカギを握るハイレベルな大会となり、応援にも力が入っていました。



▲勝利を願い一生懸命タスキをつなぐ生徒

## 八 こどもサミット交流会 十里越交流イベント盛んに

6月6日に新潟県三条市で「三条凧合戦」が行われ、只見小学校3～5年生10人と朝日小学校5～6年生2人が参加しました。会場の三条燕総合グラウンドで三条凧協会の方に指導を受け、六角巻凧の凧揚げに挑戦した児童は、器用に青空高く揚げていました。また、國定勇人三条市長より目黒町長に六角巻凧が寄贈され友好が深まりました。



▲晴天のもと上手に凧揚げをする参加児童



▲島ゆかりさんに思わず握手を求める入所者

## 童 「虹のキャラバン」慰問 謡や歌謡ショーに歓喜の声

社団法人「虹の会（アントニオ古賀理事長）」の主催による“元気”お届け集団「虹のキャラバン」が6月22日に特別養護老人ホーム只見ホームを訪れました。入所者を前に、元NHK歌のおにいさんの宮内良さんは心温まる童謡を、演歌歌手の島ゆかりさんは持ち歌「法善寺物語」や、美空ひばりさんの名曲の数々を披露しました。近隣の福祉施設からも大勢の方が来園され、にぎわいを見せました。

## E EMせっけん試作 M菌の環境浄化作用を活用

EM菌（乳酸菌、酵母、光合成細菌など自然界に生息する有用な微生物の集合体）と廃油を利用した「EMせっけん」づくりが、6月14日に朝日地区センターで行われました。朝日婦人会などでは、EM菌の環境浄化作用を活用できないかと研修を重ね、試行錯誤を繰り返し、4回目の今回は約3リットルの廃油から40個のきれいなせっけんが出来上がりました。



▲EMせっけんづくりに取り組む参加者

## 明 さなぶり健康ウォーキング るい家庭は健康からをテーマに



▲鮮やかな青空のもと心も身体もリフレッシュ

朝日地区センター運営委員会の主催により、6月6日に「さなぶり健康ウォーキング」が行われ17名が参加、朝日地区センターを発着地に万歳橋、荒島、一ノ坪を回る、全長5キロメートルの道のりを快晴のもと春の景色を楽しみながら、元気に歩きました。参加者は途中で、唱山で目黒良樹さんによる唱山古戦場の話を聞いたりして歴史にも触れました。



ヴィッキーの  
**にっぽん紀行**  
 Vol.19

Victoria・Potter  
ヴィクトリア・ポッター

・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。  
 ・2008年8月から町英語指導助手。

今月、私と3人の友だちは、命をかけ、「ふぐ」に挑戦しました。私たちはいつも熱心に新しいことに挑戦してみたり、日本のいろいろなことを経験したりしています。「ふぐ」を食べることもその中の一つなのです。毎年ふぐを食べて何名かが亡くなっていることは知っていますが、たいして死に至るのにはふぐを調理したことがない人がさばくからであるからだと思うので、心配はしていませんでした。

渋谷でふぐ料理屋をみつけ、お刺身や鍋の料理などを食べました。ふぐ刺しはポン酢で食べると、なんともいえないおいしさでした。お刺身の後、鍋用のふぐが運ばれてきました。見た目は生の鶏肉そっくりで、まだぴくぴく動きそうなくらい新鮮でした。今回の経験は、とって

もわくわくするもので、また、ラッキーなことに誰も具合が悪くなることはありませんでした。ふぐは、身の安全が保障できないので、天皇のみ食べることを禁じられた食べ物である、と本で読みました。

東京に行っていた同じ週末、三鷹のスタジオブリに行ってきました。『千と千尋の神隠し』以来、スタジオブリはイギリス人にとっても人気のある観光

地になり、トトロやキキ、ジジそしてポニョのようなキャラクターもよく知られるようになりました。そこは映画や原画の絵や写真でいっぱいスタジオであった。小さい子向けの部屋もあって、トトロにでてる大きいネコバスで遊ぶことができそうです。子どもたちがふわふわした柔らかそうなネコバスで遊んでいるのをみながら、大人はうらやましそうにその部屋を横切っていました。もし誰も周りにいなかったら、ネコバスの上で飛び跳ねたり、中をよじ登ったりしたい！とどの大人も思っていると思いました。

悲しいことですが、私は、ゆっくりと身の回りのものの片付けや、部屋の整理を始めました。私の只見での仕事は8月で終わりを迎えます。離れることはとても寂しいですが、新しいALTが来る前にすぐきれいな状態にしよう、と決心しました。

今週末、サトコさんと南会津にいる2人のALT、下郷のMattと田島のCraigそして、国見のALTと浅草岳に登る予定です。体調が悪くなったりして、みんなから遅れないように！と願っています。登山中に只見町内の人に会えるんじゃないかなあと思っています。

(訳・只見中・福地)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹 秀一

### 「老後の生活(生き方)について」

こつこつ

ようやく夏らしくなってきました。暑さが続くと脱水や熱中症になりやすいので注意してください。さて、僕が只見に来てから4年目に入りました。その間多くの患者さんを診させてもらいました。なかでも、医療↓福祉の狭間で困っている多くの患者さん・家族をみて、いろいろ考えさせられました。

典型例ですが、高齢の方が病気で入院します。治療の甲斐があつて元気になります。「よかつたですね、退院ですよ」なのですが、ここにおいて欲しいというのです。理由として、本人は「一人暮らしに自信がない」、家族側は「遠方だから一緒に住めない」「この状態ではうちではみれない」などです。

診療所にはソーシャルワーカーが居ませんので、医師・看護師・ケアマネージャーさんと相談しつつ、今後の方向性を決めていきます。

只見町の高齢化率は現在、41%であり、年1%ずつ増えています。10年後には50%を超えることが予想されます。また、65歳以上の独居の数は399世帯です。もちろん、10年後はさらに数が増えることが容易に考えられます。

誰もが元気に暮らせることを望みますし、まさか自分が寝たきりになるとは思いません。しかし、脳卒中や認知症の進行は、ある時襲ってきます。

まだ元気なうちに次の2つの項目について考えてみましょう。  
 ①自分、自分の親(祖父母)が突然寝たきりになった際、どうしますか？

施設に入るのもひとつの選択肢です。しかしながら只見ホーム・こぶし苑(こぶし苑は一生住める施設ではありません) 共に入所数10人待ちの状態であり、絶対数が足りません。診療所も町唯一の入院施設であり、急病人のために町のみならず、共有できる状態にしなければならず、いつでも入院というわけにはいきません(本当はお願いしたいのです)。

このような現状を考えると、福祉サービス(ヘルパー・ショートステイ・デイケアなど)を利用し介護力を上げ、家で見ていくことも必要になってきます。

②衰・寝たきりで、口からご飯が食べられなくなると、管から栄養を入れることを望みますか？

管を入れ、家で新聞を読みながら家族に囲まれて余生をすごされている方もいる一方、「家ではみれない」と言われ、家族の面会もなく、療養病床を転々としている寝たきりの方もたくさんいます。本人の意思はどうだったのでしょうか？家に帰れないその人(自分)は、幸せでしょうか？  
 只見は正月より、雪のないお盆に子供さんが帰省してくることが多いようです。これをいい機会に、①、②について一度家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？

# 町史

## ついでにおきの話

192

東海大学観光学部教授 (元 森林総合研究所)

田中 伸彦

### ディズニーランドから只見の森のレジヤールを考える

「只見の森は、ディズニーランドである。」

こう言うと、「そんな訳ないよ。」「全くちがうよ。」という反論が、すかさず飛んでくる気がします。しかし、森林生態系サービスの調査で廻れば廻るほど、私は次第に只見の森とディズニーランドには大きな共通点があるという確信に至りました。

共通点とは何でしょうか？それは、「頼みもしないのに、遠くの県から見知らぬ人がやって来て、疲れも知らずに一日中楽しそうにあちこち歩き回っているレジヤールランドである」という点です。

実際、他県人以上に、町民自身も、山菜採りや草花観察、クワガタ探し、溪流釣り、キノコ採りと、四季折々に目的を変えて只見の森を歩き回っています。しかも皆、目を輝かせています。

これは、ディズニーランドでアトラクションにならび、パレードを見て、お土産を買う人の目の輝きと比べて、何の遜色もありません。むしろ、只見の人のほうが、自然に囲まれ、健康的でリラックスした一日を送っている気がします。

もちろん、「毎年2600万人も訪れる日本最大のレジヤールランドと、20万人に満たない只見町を比べても無理がある」と言われてしまえば返す言葉はありません。観光収益で只見がディズニーを追い越すことはないでしょう。しかし、只見の人には、あえてディズニーランドを意識してほしいのです。

例えば、ディズニーランドはいつもきれいです。ゴミ一つ落ちていません。それは綿密なメンテナンスのもと、「キャスト」と呼ばれる従業員がすぐゴミを拾うからです。同じく、只見の森

もいつもきれいで、おかげでふんだんに山菜やキノコが採れます。でも森を清掃する従業員はいません。誰がきれいにしているのでしょうか。森の生態系です。深い雪が溶け、木々が芽吹き、動物や昆虫が活動する生態系の循環の中で、森はきれいになり、豊かな山の幸を我々に提供してくれるのです。「森林生態系」というキャストがサービスしているのです。従って、只見町の皆さんは森林生態系をサポートし、いつまでも恩恵が享受できるように、森と共に暮らす方法を学ばなくてはなりません。

皆さんは「レジヤール」の語源を知っていますか？ギリシャ語で「スコレー」と言います。スコレーは、実は、学校「スクール」の語源でもあります。豊かな只見の森を歩き回ること（レジヤール）も、森と共に暮らす方法を学習すること（スクール）も、ともに「スコレー」です。只見には豊かな森があり、森を学ぶための学校もあります。町

民が率先して「スコレー」にこそしみ、大自然のレジヤールランドを末永く満喫できることを祈念しております。



◀「夢の国」ディズニーランドでは多くの人々が歩き回っています



▲生態系サービス調査では、山菜採りにも幾度か同行させてもらい山の中を歩き回りました



▲森林を学ぶ拠点・只見プラセンター

# 町民文芸



## 只見短歌会

五月詠草

大塚栄一 指導

趣のある小さき草さへ刈られるて機械の音の遠ざかりゆく

皆川 恒子

病院を出でて若葉の輝けば車呼ばずに昂り歩む

古川 英子

五代目を継ぐ孫の嫁伴ひて家族と里の身内巡るも

吉津 政枝

施設より戻れば妹は俎板や大根前に置き千切り頼む

五十嵐英子

はや五月も終ると言ふに肌寒く蒔きし種みな芽を出す遅し

馬場 八智

長き髪せし若者の喋らねば男女の区別つかず戸惑ふ

五十嵐夏美

柄の緩む鋤を浸して置く堀の水位上りて勢ひの増す

目黒 富子

種蒔きの準備せし朝雪降りて三十センチも積もり驚く

渡部ゆき子

予報はづれ晴れし日和を喜びて孫はカラフルな自転車をこぐ

齊藤ちひろ

声かけて草花に水をやりながら今日一日の晴れるを祈る

渡部ヨリ子

娘と孫の花の仕入れに付きゆくと九十余の夫四時に仕度す

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

六月例会

目黒十一 指導

訪ね来しダムの茶房やほととぎす

邦 夫

父の日が九十六歳誕生日

只見湖を仕切る浮標や鴨涼し

礼

笑 羊

雨の日の大瑠璃の声昆布巻く

山に入る夫に新茶を点てる朝

修 一

母の日の仕事着の身をよろこびて

糸桜ゆっくり吹かれています社

春昼や海猫を聞く遊覧船

一 灯

康 女

薯の芽のうす紫の息づかい

午後からは膝に肘付く田植かな

阿吽の像力む素足や風薫る

邦 男

捨て置きし鉢に草の芽出でにけり

都

点滴の眼は空見つむ田植時

ばば様の背の人形藤薫る

軒つばめハイハイ上手囃されて

サイレンの音を遠くに田植かな

リウコ

恒 夫

夏鴨の番い飛びくる背戸の池

楚々としてかくも高きに桐の花

大雨の去るや一望山青葉

只見川桐の花咲く曾野綾子

一 穂

吉 児

九十歳越して田植の心配す

神木を抱く学童風薫る

薄衣ゆるやかに着て米寿かな

五十鈴川の音なく流れ錦鯉

洋 子

隆 堂

トラクター止めて遅咲き桜見る

古民家の軒に晒して青山椒

ぶなの木の青葉透して光降る

SLの汽笛縫いゆく桐の花

敦 子

郭公の声いつまでも夕暮るる

満開の桜や遠く飯豊山

# 今月のお知らせ

## RECRUITMENT

### 募集

#### 消防職員採用

#### 候補者試験

平成23年度南会津地方広域市町村圏組合消防職員採用候補者試験を次により行います。

#### 一、試験職種及び採用予定人員

#### ●消防職員 4名程度

#### 二、受験資格

- ①日本国籍を有する者
- ②地方公務員法第16条（欠格事項）に該当しない者
- ③年齢資格等 昭和58年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者
- ④普通自動車運転免許取得者又は平成23年3月31日まで取得見込者
- ⑤学歴は問いません

#### 三、試験の方法

- ①第1次試験（高等学校卒業

程度）  
職員として必要な一般知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。

#### ②第2次試験

第1次試験合格者に対して、作文、集団討論及び個別面接、体力測定、身体検査等による試験を行います。

#### 四、第1次試験の日時・場所

- 日時 平成22年9月19日（日）午前9時受付

（正午

#### ●場所 県立田島高等学校

（南会津町田島字田部原260番地）

#### 五、受験手続き及び受付期間

申込用紙は南会津地方広域市町村圏組合事務局、消防本部・各消防署出張所で交付します。必要事項を記入のうえ、南会津地方広域市町村圏組合事務局まで提出してください。

受付期間は、平成22年7月14日（水）から平成22年8月13日

#### 行政職員採用

#### 候補者試験

平成23年度南会津地方広域市町村圏組合行政職員採用候補者

### 電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
（歯科）	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

（金）まで（執務時間中に限り

ます）  
郵便の場合は、同年8月11日（水）の郵便局の消印のあるものに限り受け付けます。

#### 六、その他

この試験に関して不明な点は、南会津地方広域市町村圏組合事務局又は消防本部へお問い合わせください。

#### ▼問い合わせ

南会津地方広域市町村圏組合事務局（南会津町田島字西町甲4331）  
☎ 0241-6210054

南会津消防本部・本署（南会津町田島字西上川原乙65）  
☎ 0241-6212141

試験を次により行います。

#### 一、試験職種及び採用予定人員

#### ●行政職員 1名程度

#### 二、受験資格

- ①日本国籍を有する者
- ②地方公務員法第16条（欠格事項）に該当しない者
- ③年齢資格等 昭和58年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者
- ④学歴は問いません

#### 三、試験の方法

- ①第1次試験（高等学校卒業程度）  
職員として必要な一般知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。

#### ②第2次試験

第1次試験合格者に対して、作文、個別面接、身体検査等による試験を行います。

#### 四、第1次試験の日時・場所

- 日時 平成22年9月19日（日）午前9時受付

#### ●場所 県立田島高等学校

（南会津町田島字田部原260番地）

#### 五、受験手続き及び受付期間

申込用紙は南会津地方広域市町村圏組合事務局、消防本部・各消防署出張所で交付します。必要事項を記入のうえ、南会津地方広域市町村圏組合事務局まで提出してください。

受付期間は、平成22年7月14日（水）から平成22年8月13日（金）まで（執務時間中に限り

ます）  
郵便の場合は、同年8月11日（水）の郵便局の消印のあるものに限り受け付けます。

#### 六、その他

この試験に関して不明な点は、南会津地方広域市町村圏組合事務局へお問い合わせください。

#### ▼問い合わせ

南会津地方広域市町村圏組合事務局（南会津町田島字西町甲4331）  
☎ 0241-6210054

## 税 今月の納期

- 7月26日までに納めましょう
- 固定資産税（2期）
- 国民健康保険税（1期）
- 農集排使用料（7月分）
- 介護保険料（1期）

「お気軽に、ご相談ください」行政相談委員に菅家三保子さん

総務省では、只見町を担当する行政相談委員として、6月1日付けで、次の方を委嘱いたしました。

●行政相談委員

菅家 三保子さん

●只見字雨堤1054番地の2

●電話 82-2192



行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事をはじめ、NITなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

国の役所の仕事について「事務処理が遅い」、「昼休みに窓口を閉めている」など行政サービスに対するご意見・ご要望等あれば、ぜひ、ご相談ください。

相談は無料で秘密は守られません。行政相談委員は、いつでも自宅で相談に応じていますので、お気軽に、ご相談ください。

父子家庭も児童扶養手当の支給対象に

ひとり親家庭に対する自立を支援するため、平成22年8月1日より父子家庭の皆さまにも児童扶養手当が支給されます。

児童扶養手当を受給するためには、申請（認定請求）が必要です。平成22年11月30日までに忘れずに手続きをしてください。

▽平成22年11月30日前の申請

↓8月分から支給

▽平成22年11月30日以後の申請

↓申請の翌月から支給

●児童扶養手当とは

父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭（ひとり親家庭）の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として、支給される手当です。

●父子家庭の支給要件

① 次の①～⑤のいずれかに該当する子どもについて、父がその子どもを監護し、かつ、生計を同じくしている場合に支給されます。

※個々のご家庭が支給要件に該当するかについては、保健福祉課にご相談ください。

- ① 父母が婚姻を解消した子ども。
- ② 母が死亡した子ども。
- ③ 母が一定程度の障害の状態に

町長室日誌

〈 6 月 分 〉

- 1日 南会津地方広域市町村圏組合第1回臨時会
- 2日 全国治水大会山口大会（～4日）
- 5日 「会津を拓く最重点要望事項」に係る民主党福島県第4区総支部への要望会
- 6日 蒲生岳山開き、八十里越交流イベント「こどもサミット・交流会」
- 7日 南会津建設事務所平成22年度事業調整会議
- 8日 南会津郡町村長と県出先機関との懇談会
- 9日 第59回南会津地方植樹祭、福島県林業公社飯村氏来庁、第1回只見高等学校振興対策会議総会
- 10日 只見川ライン観光協会総会、只見町旅館業組合通常総会
- 11日 朝礼庁議、南会津農林事務所長来庁、水の郷まつり実行委員会
- 13日 会津朝日岳山開き
- 14日 南会津地方広域圏組合管理者巡視（南会津郡内全域）
- 16日 消防操法競技大会選手団激励会
- 17日 福島県ゲートボール協会南会津支部ゲートボール大会、庁議
- 19日 100万人のキャンドルナイトin只見
- 20日 只見湖岸マラソン大会、松坂峠のトンネル化を推進する住民会議
- 22日 只見町議会6月定例会（～28日）
- 23日 退任行政相談委員感謝状贈呈式及び新行政相談委員委嘱状交付式、Jパワー東日本支店長来庁
- 26日 関西経済人及び郷土史研究家深滝純一氏来町
- 28日 健康医療評価研究機構特定非営利活動法人事業統括部長外1名来庁
- 30日 会津地方振興局永田副部長来庁、只見町勤労者互助会理事会・総代会、消防操法大会出場選手激励会

ある子ども。

④ 母の生死が明らかでない子ども。

⑤ その他（母が1年以上遺棄している子ども、母が1年以上拘禁されている子ども、母が婚姻によらないで懐胎した子どもなど）

●手当の額

受給資格者（ひとり親家庭の父や母など）が監護・養育する子どもの数や受給資格者の所得等により決められます。

▽児童一人の場合

- 全部支給 41,720円
- 一部支給 41,710円

▽9,850円

▽児童2人以上の加算額

- 2人目 5,000円
- 3人目以降1人につき

●申請手続きについて

児童扶養手当を受給するためには、申請窓口への申請が必要です。11月30日を過ぎると、「申請の翌月分」からの支給となりますので、なるべくお早めに手続きをしてください。

申請に当たっては、請求者及び該当する子どもの戸籍謄本（抄本）や住民票が必要です。詳しくは、お問い合わせください。※所得制限があり、非該当になる可能性もあります。

●申請窓口

只見町保健福祉センター内  
保健福祉課福祉班

▼問い合わせ

保健福祉課福祉班  
0241-84-7010



あなたの一票明るい未来

只見町選挙管理委員会・只見町明るい選挙推進協議会



# 町民の消息

(6月1日～6月30日届出分・敬称略)

## ■お誕生おめでとうございます

目黒 ゆまり (女/克輝・奈々子) 小川  
薄葉 祐 (男/豊・陽子) 只見

## ■ご結婚おめでとうございます

蒲生 三瓶 一則♡南会津町 五十嵐 莉沙

## ■おくやみ申し上げます

五十嵐 四郎	78才	福井
長谷部 ヨシミ	92才	只見
飯塚 吉次	90才	坂田
山内 良子	77才	小林
馬場 侑	90才	只見
五十嵐 コイ	82才	福井
三瓶 一夫	84才	大倉
山中 リン	80才	小川
菅家 重男	98才	布沢

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成22年6月1日現在

人口	4,964 (-7)
男	2,362 (-4)
女	2,602 (-3)
世帯数	1,881 (-1)
高齢化率	41.6%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 4 出生 1 死亡 9

▽平成22年度福島県消防操法南会津地方大会が7月4日に南会津町のだいくらスキー場駐車場で行われました。只見町は、ポンプ車操法と小型ポンプの部の両方に出場し、両部門ともに第3位の成績を収めました。2年に一度開かれるこの大会に向け、出場選手の皆さんは、約1カ月間、訓練を行いました。その成果が十分に発揮された操法だったと感じました。選手の方々、本当にご苦労さまでした。この大会の様子は次号で紹介いたします。▽今年も田んぼのあちこちで蛍が飛び始めました。夏ですね。

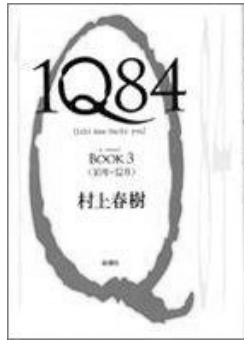
## あとながき

地区センター長  
馬場 博美

只見地区センター  
図書室 ☎ 82-2141

# おすすめ新着図書

## ★1Q84 BOOK3



村上春樹／著(新潮社)

「1Q84」の世界に、もし愛があるなら、それは完璧な愛かもしれない。空前の話題を呼んでやまない物語は、更に深い森の中へ。待望のBOOK3刊行!

## ★手ぬいで作るふんわりシュシュ



高橋恵美子／著(日東書院)

1時間で作れるオシャレな髪飾り。レースやちりめん、ステキな手ぬいのシュシュがいっぱい。全作品、作り方付き。

## ★基本からはじめる手ぬいレッスン



高橋恵美子／著(日本ヴォーグ社)

手軽に「手ぬい」を楽しむための基礎本。ぬい方やポイントを写真とイラストで解説。手ぬいの布小物も紹介。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## ヒメサユリ

姫小百合／ユリ科／  
分類名はオトメユリが正式

福島、新潟、山形、宮城南部にのみ自生する貴重なユリ。

6月は、蒲生岳や三ツ石神社参道など里近くの花が見ごろ。

7月は、浅草岳山頂直下の「天狗ノ庭」が花盛り。

青空の下に広がる草原に、可憐なピンクの花が点在して咲きます。

ちなみに浅草岳という山名は、浅い草、つまり草原を表しています。



ヒメサユリ

### ブナセンター講座

※詳しくは、「只見町ブナセンターだより」に紹介しています。

第6回 7月17日(土) 「ホテル観察会」

第7回 8月5日(木) 「昆虫採集教室」講師:今井初太郎さん／対象:小学校高学年～

第8回 8月8日(日) 「恵みの森・親子自然教室」

### 【特別企画展】

昆虫標本展 7月21日(水)～9月17日(金)

※この広報紙は再生紙を使用しています

## イベントカレンダー

7月

● 17・18・19日(土・日・祝)

「風つこ会津只見号運行  
会津若松―只見(一日)―往復」

● 17日(土)

「伊南川アユ釣り解禁」

● 24・25日(土・日)

「風つこ会津只見号運行  
会津若松―只見(一日)―往復」

● 31・8月1日(土・日)

「水の郷まつり(只見川公園)」

8月

● 1日(日)

「風つこ会津只見号運行  
会津若松―只見(一日)―往復」

● 7・8日(土・日)

「浅草岳・山神杉トレッキング」  
「風つこ会津只見号運行  
会津若松―只見(一日)―往復」

● 14・15日(土・日)

「成法寺観音堂御開帳  
(梁取・成法寺)」

9月

● 5日(日)

「只見町祭礼行事」

▼毎週日曜日、朝8時半より、ひんのめえ市を開催中です。町民の皆さんも出品してみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています